

## 平成21年度実績事務事業評価シート (Aシート)

作成日：平成22年6月18日

整理番号		07-020501001-01		事業種別		一 般		事業態様		継続	
事務事業名				区分	コード	名 称					
介護予防サービス等給付事業				会計	6	介護保険特別会計（保険事業勘定）					
総合計画体系	前期基本計画	区分	コード	名 称							
		基本目標	3	共に支えあうやさしいまちづくり							
	施策	3	高齢者福祉の充実								
		基本事業	4	介護サービスの充実と介護保険事業の円滑な運営		事務事業の根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	介護保険法			
	事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		( 年度 ~ 年度 )				
事業概要 (事業のあらまし)		介護保険サービス給付費（被保険者の認定区分：要支援1～2の保険者負担分）をサービス提供事業所へ支払う。									
計画等での位置付け		<input checked="" type="checkbox"/>	総合計画 前期基本計画主要事業			担当部課等	生活福祉部		高齢福祉課		
		<input type="checkbox"/>	自主的財政健全化計画 基本計画・構想・新規事業			担当係	介護保険係		記入者	※渡辺秀紀（遠藤）	
		<input type="checkbox"/>	平成21年度重点事業			一次評価者（課長等名）		国分郁夫			

### 1 行動方針 (PLAN)

事業目的	対象（誰を、何を）	介護保険サービス提供事業所（国保連合会経由）、被保険者（認定者）									
	意図→目指す成果 (対象をどのような状態にしたいのか)	介護保険サービス給付の保険者負担分を、効率的に支出することで、被保険者への介護サービスを適切に提供する。				⇒	区分	指標名			単位
手段 (事業の具体的な内容、手順等)	各種介護サービス提供事業所からの保険者負担請求分について、国保連合会を経由して支出する。	⇒	成果指標	認定者（要支援1～2）		人/年度末					
			活動指標	サービス給付額		円					
			活動指標	サービス受給者数		人/年間					

### 2 実施 (DO)

#### ○事業費と財源の推移

区分	年度	平成20年度（決算）		平成21年度（決算）		平成22年度（決算）	
		経費	金額	経費	金額	経費	金額
直接事業費	負担金・補助及び交付金		53,215	負担金・補助及び交付金	56,992		
	①事業費計		53,215	①事業費計	56,992	①事業費計	
	人件費	②人数（年）	0.25	②人数（年）	0.25	②人数（年）	
		③平均人件費	8,608	③平均人件費	8,375	③平均人件費	
		④=②×③	2,152	④=②×③	2,094	④=②×③	
総事業費 ①+④		55,367		59,086			
財源内訳	国庫支出金		14,178	国庫支出金	15,419		
	県支出金		6,664	県支出金	7,124		
	使用料及び手数料			使用料及び手数料			
	地方債			地方債			
	その他		25,301	その他	26,316		
一般財源		9,224	一般財源	10,227			

#### ○事務事業の実績

活動指標	指標名	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成25年度
			(実績)	(実績)		(目標年度)
活動指標	サービス受給者数	人/年間	1,355	1,419	1,370	未定（第5期）

○事務事業の成果

	指標名	単位	平成20年度 (実績)	平成21年度 (実績)	平成22年度	平成25年度 (目標年度)
成果指標	認定者（要支援1～2）	人/年度末	186	184	188	未定（第5期）
	サービス給付額	円	53,214,210	56,991,659	55,302,951	未定（第5期）

3 評価（CHECK）

【1次評価】

項目	区分	選択理由の説明	項目評価
目的 妥当性	1 意図が政策・施策体系と結びついているか？ <input type="checkbox"/> 結びつかない <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	⇒ 介護保険制度の根幹となる保険給付	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> やや不適切
	2 市が行うべき（関与すべき）事業か？ <input checked="" type="checkbox"/> 行う必要がある <input type="checkbox"/> 行う必要がない	⇒ 市町村の自治事務	<input type="checkbox"/> 不適切
有効性	1 目的を達成するための手段（実施方法）は有効か？ <input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> やや有効でない <input type="checkbox"/> 有効でない	⇒ 現行の保険制度に基づく給付方法	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> やや不適切 <input type="checkbox"/> 不適切
	2 成果指標の目標値の達成状況は？ <input type="checkbox"/> 順調である <input checked="" type="checkbox"/> やや順調でない <input type="checkbox"/> 順調でない	⇒ H21給付実績は概ね推計どおりであるが、平成18年度の制度改正で創設されたものであるため、認定者への対応窓口（ケアマネジャー）が、介護認定区分の結果に左右される制度上の問題あり。	
効率性	1 投入した事業費又は人員に見合った効果は得られているか？ <input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> やや得られていない <input type="checkbox"/> 得られていない	⇒ 高齢化の進むなか、保険制度として不可欠であるが、将来的に現行制度が維持可能かは、国レベルで費用負担問題が重要。	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> やや不適切 <input type="checkbox"/> 不適切
	2 効率的な方法で実施されているか？ <input type="checkbox"/> 実施されている <input checked="" type="checkbox"/> やや実施されていない <input type="checkbox"/> 実施されていない	⇒ 報酬改定や認定制度見直し等が年度毎に発生し、それらに対応したシステム改修費用等が随時必要となる。	
公平性	1 受益者の負担が適正かつ特定の個人や団体に偏っていないか？ <input checked="" type="checkbox"/> 馴染まない <input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> やや適正でない <input type="checkbox"/> 適正でない	⇒ 受益者（被保険者）は、法定自己負担のみ	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> やや不適切 <input type="checkbox"/> 不適切

【2次評価】

全体評価	意見
<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> やや不適切 <input type="checkbox"/> 不適切	

4 評価による行動（ACTION）

	【1次評価】		【2次評価】	
	今後の方向性	方向性に対する取り組み（課題と解決方法等）	今後の方向性	方向性に対する取り組み（方針の指示）
20年度	<input type="checkbox"/> 拡大・重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了・終了	高齢化・核家族化のなか、サービス給付の増加が見込まれ、現行レベルの制度を維持するにも財源問題が生じる。市町村レベルでは、介護予防事業の展開が重要となるが、国レベルでは近い将来制度の見直しが予想される。	<input type="checkbox"/> 拡大・重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の見直し <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了・終了	
21年度	<input type="checkbox"/> 拡大・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 手段等の見直し <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了・終了	高齢化・核家族化のなか、サービス給付の増加が見込まれ、現行レベルの制度を維持するにも財源問題が生じる。市町村レベルでは、介護予防事業の展開が重要となるが、国は社会保障審議会介護給付費分科会で制度について審議中。また、給付事務の増加に対応した事務体制が必要。	<input type="checkbox"/> 拡大・重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の見直し <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了・終了	
22年度	<input type="checkbox"/> 拡大・重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の見直し <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了・終了		<input type="checkbox"/> 拡大・重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の見直し <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了・終了	